



発行：
山古志木籠ふるさと会
会長：松井 治二
発行年月日：
平成23年11月30日

木籠ふるさと便り

今年は豊作！！ ～稲刈り・脱穀お疲れ様～

お日様ぽかぽか稲刈り日和

～額に汗して頑張りました～



9月25日、黄金色の田んぼへいざ突入！雨続きの天気の中、今日は見事な秋晴れ。太陽と秋の空気が心地よい日です。足元がぬかるんで苦戦をしいられながら、「今年は転ばなかった～」と喜んだり、泥だらけのお尻をみんなで笑ったり、とってもいい汗を流しました。

稲を刈る人、束ねる人、束ねた稲をせっせと運ぶ人、なかなかの重労働です。もう少し、もう少し・・・田んぼの端っこが近づいてくるとほっとします。山のような稲の束も、後2・3往復で運び終わるかも・・・と思うと踏ん張れます。田んぼから運ばれた稲束は、はざかけ隊がはしごに登って頑張っています。手作業って本当に大変です。だけどみんなで頑張った嬉しさが忘れられず、毎年みんなが木籠に集ま

ります。木籠のじいちゃん、ばあちゃんに、手とり足とり教えてもらって上手になります。身体で覚えたプロのすご技を、見よう見まねで覚えます。そんな楽しみが、木籠を私たちのふるさとにしてくれます。

【畦道トコトコ】



【木籠の働き者】



【木籠のおとぼけ者】



【ハイ、くるん！】



【頑張れ はざかけ隊！】

さあ、脱穀！ ～みんなの汗が 米粒に変わる時～



10月10日、木籠の風と太陽が乾かしてくれた稲をはざからおろし、脱穀がはじまりました。ポンと投げた稲束を下で見事にキャッチ。軽トラックに積んで近くの脱穀機まで運びます。山積みの稲束はテキパキと降ろされ、脱穀機へ。だんだん息が合ってきて、スピードもどんどん上がっていきました。「手を挟まないでね」と、木籠のお母さんはちょっと心配そう。お昼休みを挟んでひたすらもくもくと働きました。みなさん本当にお疲れ様。今年はとっても豊作だそうです。

【絶妙なコンビネーション】

【木籠のスパイダーマン】 【流れ作業の息もピッタリ！→】

【ちょっと一息(＾v＾)v】



【みんなで作った案山子が米を守っていました】

【脱穀機にかけて・・・やっとな粒一粒の米になる】



千ビッコ・昔は千ビッコ大活躍 ～イモ掘りわっしょい!～



おイモさん
どっすか?

秋の実りも大豊作。大きなサツマイモを
いっぱい収穫しました。千ビッコは早い!
負けじと本気のもと千ビッコ達(-.-); けど、
傷つけないように、優しくね。大事な冬の
保存食です。
大根やピーナッツも収穫しました。ピーナツ
って、実が土にもぐっていつて育つて知
ってましたか? 地もぐり豆と言う地域もある
そうです。だから「落花生」なのかな・・・?



【だいこん〜んとれたよ〜! もちきれない!】



すごいね〜♡

イエ〜イ

太力い!!



共同傑作!



もう一息!
がんばるわよ



【ピーナッツがぬけた! ピーナッツって土の中に来るんだね】

とどけ! 被災地応援米 ～お米を食べて力を出して下さい!!



10月16日、木籠でできた新米30箱
を被災地応援米として、福島をはじめ
全国各地のご縁のあった方々にお送り
しました。
箱の中身は、お米の他に、山古志の
子供たちが書いた応援の手紙や、ふ
るさと会からのメッセージと米作りの写
真など盛りだくさん。みんなで荷造りを
して、出荷を見送りました。
震災から半年以上たった今、被災地の
方々に、なんとか踏ん張ってほしい。

【応援米とメッセージをつめて皆で荷造り】

お米をたくさん食べて、少しでも力を出してもらえたら。子供たちの手紙を見て、何と
か未来を見ようという気持ちになってもらえたら。とても難しいことだけれど、このお米の箱1つ1つに祈りを込めて・・・。

【クロネコさんが集荷に来ました】

【パケツリレー方式でトラックへ】

【最後の1箱だ〜(拍手)】

【クロネコさんよろしくお願ひします】



手紙を書いてくれ
た皆さん、荷造りを
手伝ってくれた皆
さん、どうもありが
とうございました。

どうか、一人でも多くの被災者の
方々が、目の前のものだけに翻弄さ
れず、見えない自分たちの力を信じ
て、見えない人々の絆が見えますように。

私達に、その方々を責めることは
できません。先が見えない、帰るふ
りさとは危うい。根っこをなくして
しまふって、何て切ないことなのだ
ろう。

お礼のお手紙もいただきました。
目に見えない放射能にずっと怯え
た。それでも「がんばろう、あきら
めるな」と目に見えない人間の絆と
心を糧に頑張った。

言葉にならない悔しさや切なさを
微塵も感じさせないこの声は、電話
の受話器をとるたびに、無意識の決
意として実戸さんからしぼり出てく
るのではないだろうか。元気な声で
受話器を持って話している実戸さん
の本当の顔が、ふと見えなくなつて
しまうのです。

言葉にならない悔しさや切なさを
微塵も感じさせないこの声は、電話
の受話器をとるたびに、無意識の決
意として実戸さんからしぼり出てく
るのではないだろうか。元気な声で
受話器を持って話している実戸さん
の本当の顔が、ふと見えなくなつて
しまうのです。

目に見えないこと

お米のお礼が届きました。「あり
がとう、嬉しかったよ」という、元
気そうな声と、目に浮かぶような電
話の向こうの実戸さんの顔。「実戸
です」といつも明るく電話に出る
実戸さん。この声にいつも頭がさが
ります。

ありがとう皆さん ～郷見庵のにぎわい～

郷見庵ができてあつという間に1年が過ぎました。週末になると何台ものマイクロバス、山古志ウオークの休憩所、そして10月23日の震災の日。沢山の方々に足を運んで頂き、たえない励ましの声をかけていただいています。本当にありがとうございます。

また、東日本大震災の後には、多くの被災者の方々と郷見庵の震災資料館をみながら語らうことができました。私たちはいつでもここで願っています。これから長い道のりを一緒に歩いていきましょう。

郷見庵の近況は、ブログ http://blogs.yahoo.co.jp/satomian_kogomo/MYBLOG/yblog.html でご覧いただけます。

山古志ウオーク ～案山子を見ながら お蕎麦をツルリ～



9月10日、恒例の山古志ウオーク。木籠は20kmのロングコース休憩所になる。今年は福島南相馬から長岡で避難生活を送る槇さんが郷見庵でお蕎麦をふるまった。川瀬さんはみずからウオーキングに参加。全国各地からの参加者と一緒に山古志を一步一步あるいてくださった。避難生活のなかでも何かをやっていこうとする、お二人の姿に励まされる。案山子作りも毎年力が入り、今年は並びきれないほど。なでしこジャパンの金メダルが、太陽にキラキラと輝く。江姫のかわいらしい着物姿が木籠の山々と景色に映える。木籠の父ちゃん母ちゃんはいつものにこにこ顔だ。



【もうすぐ木籠の休憩所、郷見庵。がんばって】

【福島の方々の川瀬さん(左)と槇さん(右)】



【案山子投票への協力、
右：江姫
中：木籠の父ちゃん母ちゃん
左：なでしこJAPAN
ありがとうございます！】

【お蕎麦で一息、頑張ってるね】



10月23日震災の日 ～あれから7年たったんだ～



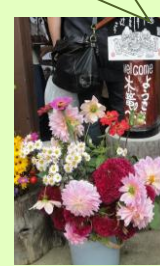
10月23日、郷見庵にこんなに沢山の方々が来てくださいました。あれから7年も経ちました。震災の日の郷見庵は活気に満ちていました。朝から餅つき、丸太切り競争。フリーマーケットにあったかいコンニャクの煮つけ、いつもの新鮮野菜売り場。野いちごカフェも登場。こんなに楽しく笑っていただけるなんて、お客さんとお話できるなんて、幸せでありがたくって、頑張ってきてよかった。けれど2階の資料館を私たちはずっと心に刻み、大切に語り継いでいきたい。あの日があってこそ今の私たちの姿がある。一步一步あゆんできた歳月を、この震災の日に、しっかりと胸に思いおこすのです。

【こんにゃくおいしいよ～】

【とっても新鮮野菜です】

【技自慢！丸太切り大会】

【まだまだ着れるお洋服よ！】



木籠へようこそ

震災資料館展示



↓震災直後

芋川が溢れ、家屋が水没した



↑震災後
復興の歩み

新しい木籠の御宮様を建てた
土砂の中から先祖のお墓を掘った

↓震災前の木籠



隧道や昔の御宮様が残る貴重な写真

木籠ふるさと会HPオープン



沢山の方々のご理解とご協力をいただき、できあがりました。 <http://yamakoshikogomo.com/>

H24 木籠カレンダー好評発売中

H24 木籠カレンダー 表紙写真



5月「頑張っぺ南相馬」

10月「語らいの場 郷見庵」

お買い求めは、郷見庵 または ふるさと会事務局までお問い合わせください。

こども

山古志木籠ふるさと会 募集



〔木籠の御神木 夫婦けやき〕

山古志・木籠地域の伝統、文化、暮らしを継承し、地域の振興と発展に寄与することを目的とします。

集落活動や農作業・山仕事を通して共に働くことの素晴らしさを実感し、豊かな自然の恵みを楽しむ元気を村づくり、「千年続く日本の故郷」づくりをめざします！

- 特典：
- （１）「会員証」の交付
 - （２）「山古志木籠ふるさと便り」毎月郵送
 - （３）こどもカレンダーをお送りします。

「日本の故郷 地震で沈んだ村

年会費：（個人）年額 2,000 円、（団体）年額 10,000 円（何名様でもOK！） 皆の力でここによみがえる 山古志木籠
お申し込み方法：下記連絡先のどちらかに入会する旨をお知らせください。HPからの入会も可能です

■山古志 木籠集落 区長 松井治二（FAX/電話）0258-59-2180

■山古志木籠ふるさと会 事務局 担当：石井秀次（Eメール）cid85830@syd.odn.ne.jp

入金方法：郵便振替又は、現金申し込みになります。

郵便振替方法：現金又は、郵便貯金口座から下記口座へのお振替となります。

（現金の場合）郵便局窓口で「電信払込み請求書・電信振替請求書」にご記入をお願いします。

※その際「お受取先口座番号」の『CD/再発行』欄は無記入で結構です。

（ゆうちょ銀行の口座をお持ちの場合）郵便局のATMからお取り扱いできます。

振替口座：ゆうちょ銀行口座をお持ちの場合 記号：11220 番号：25565141

他銀行からのお振り込みの場合 店番号：い 128 普通口座 口座番号：2556514

口座名義人 山古志木籠ふるさと会（ヤマコシコゴモフルサトカイ）

